

すざかけ

札幌市立東栄中学校 学校だより
第 7 号
発行日：令和 4 年(2022 年)12 月 5 日
所在地：札幌市東区本町 1 条 7 丁目 2-7
電 話：781-0278 F A X：783-8136
U R L：http://www.toei-j.sapporo-c.ed.jp

全国学力・学習状況調査結果

令和 4 年 4 月 19 日(火曜日)に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせいたします。

本調査は、国語、数学、理科、そして生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の 3 つの調査を、全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象に実施されました。本校全体の結果については以下の通りです。この結果を、今後の本校の教育活動の様々な場面で活用していきたいと考えておりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

< 生活習慣・学習について >

生徒質問用紙の調査結果概要では、肯定的な回答を合計した結果を分析し、特徴的なものをお知らせいたします。

◆肯定的な回答の割合が高いもの

- ・毎日、同じくらいの時間に寝ている。
- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・人が困っているときには、進んで助けている。
- ・友達と協力するのは楽しい。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・新聞を読んでいる。
- ・読書は好き。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

◆教科ごとの課題と改善の方向についてお伝えいたします。

【中学校国語】

本校の概要

【区分及び領域】

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均を下回っている。
- 「書くこと」
 - ・全国平均を下回っている。
- 「読むこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「情報の扱い方に関する事項」
 - ・全国平均を下回っている。
- 「我が国の言語文化に関する事項」
 - ・全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- ① 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。
- ② 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。
- ③ 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。
- ④ 文脈に即して正しく漢字を書く。
- ⑤ 引用の仕方や出典の示し方について理解し、書く活動の中で使う。
- ⑥ 行書の特徴を理解する。

改善の方向

- ① 聞き手の立場に立ち、どのような工夫が効果的なのかを考え、実践する活動の充実。
- ② 自分の考えと、それを支える根拠とのつながりに留意し、表現の仕方や資料の活用なども工夫しながら記述する活動の充実。
- ③ 描写をもとに、登場人物の心情の変化や物語の展開を捉える活動の充実。
- ④ 実際に書く活動を通して、漢字を正しく使う態度と習慣を養う活動の充実。
- ⑤ 引用の仕方について理解を深め、引用する目的や効果を考える指導の充実。
- ⑥ 行書がどのような書き方なのかを具体的に理解する活動の充実。

【中学校数学】

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	<p>【区分及び領域】</p> <ul style="list-style-type: none">□ 「数と式」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均を下回っている。□ 「図形」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均を上回っている。□ 「関数」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。□ 「データの活用」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。	<ol style="list-style-type: none">① 自然数を素数の積で表すことができる。② 2つの角の大きさの和が常に等しくなることを論理的に説明する。③ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。④ グラフからデータの傾向を的確に捉え数学的な表現を用いて説明する。	<ol style="list-style-type: none">① 用語の意味や問題文を理解し、目的に応じて式を変形し、その意味を読み取り説明する活動の充実。② 難易度の異なる多様な問題を設定し、筋道を立てて考え、今後も事柄が成り立つ理由を論理的に説明し、交流する活動の充実。③ 伴って変わる2つの数量に着目し、測定で得られたデータを座標平面や表に表し、表されたグラフや表のもつ性質を利用してその関係を見だし、説明する活動の充実。④ 用語の意味を理解し、データの傾向の判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実。

【中学校理科】

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 理科	<p>【区分及び領域】</p> <ul style="list-style-type: none">□ 「エネルギー」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度である。□ 「物質（粒子）」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。□ 「生命」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。□ 「地球」<ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	<ol style="list-style-type: none">① 力の働きに関する知識及び技能を活用して、力を矢印で表し、その力を説明できる。② 化学変化に関する知識及び技能を活用して、モデルで表した図を基に化学反応式で表すことができる。③ 気象観測のデータを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できる。	<ol style="list-style-type: none">① 力の三要素を理解しながら力の矢印を作図するとともに、物体に力が加わる事象についての理解を深める活動の充実。② 化合や分解、酸化還元などの様々な化学変化を、実験結果を基に考える機会を増やすとともに、その変化の過程を日本語の式、モデル式、化学反応式の順に組み立てる活動の充実。③ 気象観測の知識のみに頼らず、毎日の天気予報に目を向け、降水確率に裏付けされた理由を、継続的な雲の衛星画像と天気図を重ねて考えるなど、主体的な探究を促す活動の充実。